

2023年度 日本獣医がん学会 第1回臨時理事会（メール会議）議事録

日時：2023（令和5）年5月2日

場所：メール会議

出席者：（メール送信先）理事：石田卓夫、藤田道郎、杉山大樹、皆上大吾、武信行紀、高橋 雅、浅野和之、金井詠一、児玉和仁、小林哲也、井上 明、高木 哲、辻本 元、中川貴之、細谷謙次

監事 三宅龍二・水上浩一

議事録署名人：代表理事 石田卓夫、監事：三宅龍二、水上浩一

議事録作成人：事務局 福原佳子

出席理事 議決権のある総理事数 15名

メール送信日：2023年4月27日

返信期限：2023年5月2日正午

ご意見・ご質問返信：全員へのメール返信にて

投票返信先：投票フォームもしくは事務局メール宛、なお、期日までにご返信が頂けなかった場合は、ご承認いただいたものと判断した。

決議を明確にするため、2023年5月2日の決議事項について本議事録を作成し、議事録に押印する。

審議・決議事項：

第1号議案：定款の変更に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第2号議案：謝礼規程の変更に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第3号議案：代議員選出細則変更に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第4号議案：理事選挙細則変更に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第5号議案：2024年1月の認定医2種試験対応講習会のオンライン開催に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第6号議案：WVCC・国際情報委員会内のWOC（World Oncology Connections）小委員会設置に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第7号議案：学会抄録のPDF配布、及び印刷物配布の廃止に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第8号議案：WVCC参加費に関して

過半数の投票を得て、承認された。

第9号議案：投稿規程変更に関して

過半数の投票を得て、承認された。

①、②の2ヶ所の定款変更を提案する、理由は以下のとおりである

①臨床研究委員会の設置により今後本会主導での臨床研究や、研究発表のアワード、研究助成が行われる予定である。そのことを定款でも明確にするために変更すべきと判断した。

現在

(目的)

第3条 当法人は、我が国における獣医腫瘍診断・治療学の発展と推進に寄与することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 会員の研究発表会、学術講演会、技術講習会等の開催
- (2) 機関誌その他の出版物の刊行
- (3) 内外の関連学術団体との連絡提携
- (4) 腫瘍学に関する臨床研究の実施
- (5) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

変更案

→(4) 腫瘍学に関する臨床研究の実施

- (5) 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
- (6) 前各号に掲げる事業に付帯または関連する事業

補足：4月27日に「①の変更箇所が分からない」とのご質問を受け「従来は第3条(1)～(5)に、(6)を追加した」を追加して説明した。

②業務執行理事の定数は本来は理事の定数を下回らなければいけないが、上回っている。これは以前理事定数を削減した時に変更し忘れていたためである。現在はほぼ全ての理事が業務執行しているため、業務執行理事そのものをなくすことを提案する。

↓ 4月27日質問による訂正あり

②の上記文章を訂正いたします。

②は、業務執行理事の定数を20名に変更することを提案する。

業務執行理事というものについて、当初はそれ自体を無くすことを考えたが、法人法に精通した会計事務所からの指摘により文言を残した方がいいとのアドバイスがあり、現状の理事の定数に合わせた。

現在

(役員等)

第23条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、3名以内を副会長とすることができる。
- 3 理事のうち25名以内を業務執行理事とする。

変更案

→ (役員等)

第23条 当法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 15名以上20名以内
- (2) 監事 2名以内

- 2 理事のうち、1名を代表理事とし、代表理事をもって会長とする。また、3名以内を副会長とすることができる。
- 3 理事のうち20名以内を業務執行理事とする。

第2号議案：謝礼規程の変更に関して

アワード審査員項目の新設、社会情勢の変化による金額変更などにより添付資料のように変更することを提案する。

現在	謝金（手取り）		変更案	謝金（手取り）
メインシンポジウム演者	40000	→	シンポジウム演者 （メイン、委員会）	30000
メインシンポジウム座長	20000		シンポジウム座長 （メイン、委員会）	20000
委員会シンポジウム演者	20000		座長（一般口演、症 例検討）	20000
委員会シンポジウム座長	15000		審査員（新設）	50000
一般口演座長	15000			
症例検討座長	20000			

今後のWEB選挙の実施などを見据え、代議員選出細則の変更①～④を提案する。

①現在

第2条（選挙管理委員会）

2）選挙管理委員会の構成は、非改選の現職理事1名、および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

変更案

2）選挙管理委員会の構成は、現職理事1名、および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

②現在

第9条 立候補の届出

代議員選挙に立候補する者は、所定の立候補届出書に必要事項記載のうえ、選挙管理委員会宛に郵送にて選挙管理委員会の指定する期日までに届け出るものとする。

変更案→

代議員選挙に立候補する者は、所定の様式（WEBのフォームや書式など）に則り、選挙管理委員会の指定する期日までに届け出るものとする。

③現在

第10条（候補者の公示）

選挙管理委員会は、立候補者の資格審査を行い、立候補者名簿を作成し、投票期間の初日の14日前までにこれを公示のうえ、選挙権を有する正会員に対し立候補者名簿に投票用紙を添えて送付する。

変更案

→第10条（選挙の公示）

選挙管理委員会は、投票期間の初日の14日前までに選挙の実施を公示する。

④現在

第11条（投票方法）

- 1) 代議員選挙の投票は、郵送法により行う
- 2) 投票は指定された記載方式（所定人数3名）に従い、無記名投票とする
- 3) 当法人の事務局は、投票期間中に郵送された投票用紙を受理し、開票日まで厳重に保管受理しなければならない

変更案→

- 1) 代議員選挙の投票は、郵送やWEBなどで行う
- 2) 投票は指定された投票方式に従い、無記名投票とする
- ※3) は削除

第4号議案：理事選挙細則変更に関して（2025年の選挙から適応）

杉山大樹

今後のWEB選挙の実施などを見据え、理事選挙細則の変更①～③を提案する

①現在

第2条（選挙管理委員会）

2) 選挙管理委員会の構成は、非改選の現職理事1名、代議員1名および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

変更案

2) 選挙管理委員会の構成は、現職代議員1名、および当法人の事務局1名とし、会長が委嘱する。

②現在

第10条（候補者の公示）

選挙管理委員会は、立候補者の資格審査を行い、立候補者名簿を作成し、投票期間の初日の14日前までにこれを公示のうえ、選挙権を有する正会員に対し立候補者名簿に投票用紙を添えて送付する。

変更案

→第10条（選挙の公示）

選挙管理委員会は、投票期間の初日の14日前までに選挙の実施を公示する。

③現在

第11条（投票方法）

- 1) 理事選挙の投票は、郵送法により行う
- 2) 投票は指定された記載方式（所定人数3名）に従い、無記名投票とする
- 3) 当法人の事務局は、投票期間中に郵送された投票用紙を受理し、開票日まで厳重に保管受理しなければならない

変更案→

- 1) 理事選挙の投票は、郵送やWEBなどで行う
- 2) 投票は指定された投票方式に従い、無記名投票とする
- ※3) は削除

第5号議案：2024年1月の認定医2種試験対応講習会のオンライン開催に関して

杉山大樹

認定医2種試験受講印対応の認定医講習会は、例年は7月と1月の学会内で行われている。第29回学会は世界獣医がん学会に合わせて行われるため、その際の認定医講習会開催方法が懸案であった。WVCCの会期中に同会場内で行う案、WVCC会期の前後で行う案、全く別の日程と別会場で行う案、全く別の日程でオンラインで行う案などが検討されたが、以下の理由から全く別の日程でオンラインで実施する案が妥当と判断した。

- ・WVCC会期中はWVCCのプログラムに参加してほしい
- ・WVCC前後での開催は、講演者やスタッフの確保が難しい（WVCCと連続した日程で休みを取ることが難しい）
- ・受講希望者の中には働き初めの若い獣医師も多く、WVCCの参加費が負担になる可能性がある
- ・別の日程で行う場合、会場の実施よりもオンラインの方は運営が簡便である
- ・別の日程でどこかに会場を借りて行うことは、WVCCの準備などを考えると運営に無理がある

日程

2023年12月1日までに講演動画の提出

2023年12月14日(木)から2024年1月15日(月)配信

第 6 号議案：WVCC 委員会内の WOC（World Oncology Connections）小委員会設置に関して

WVCC・国際情報委員長 小林哲也

WOC（World Oncology Connections）とは、VCS（アメリカ）、ESVONC（ヨーロッパ）、AMONCOVET（メキシコ）、ABROVET（ブラジル）など世界中の獣医がん学会が持ち回りで世界を繋ぐオンライン講演会を企画するものである。2023 年 2 月には本会の WVCC・国際情報委員会が担当し猫の乳腺がんに関するプログラムを企画した。この企画は継続することになっており、引き続き本会も参画することは先の総会で承認を得ている。今後は WVCC 委員会内に WOC 小委員会を設置しで対応していきたい。小委員会設置についてご審議お願いします。

※委員への立候補も受け付けます。委員にとっても世界のオンコロジストと繋がる貴重な機会です。希望者は事務局までメールで応募してください。

第7号議案：学会抄録のPDF配布、及び冊子配布の廃止に関して

杉山大樹

社会情勢に鑑み、本会もペーパーレス化を進めるべきと判断した。今後は学会講演要旨集の冊子での配布を終了しPDF等のデジタルデータでの配布とする。また、アプリの利用によるさらなる利便性の向上を図っていきたい。

第 8 号議案：WVCC 参加費に関して

杉山大樹

WVCC の収支は、兼ねてから会長が説明しているように赤字となる見通しであり、そのために数年かけて資金を蓄えている。そのため参加費は収支予測に基づいて決めるのではなく、一般的な世界大会の参加費を参考に検討した。

【WVCC 参加費（案）】

会員早期事前登録	50,000 円
会員一般登録	60,000 円
非会員早期事前登録	70,000 円
非会員一般登録	80,000 円
学生早期事前登録	40,000 円
学生一般登録	50,000 円
ナイトセミナー早期事前登録	8,000 円
ナイトセミナー一般登録	10,000 円

（上記会員とは JVCS,VCS,ESVONC,ABROVET,AMONCOVET,JSVAS,JSVI,JCVP）

なお、日本獣医がん学会会員が参加する場合は本会から 10000 円の補助
2024 年 1 月開催予定の認定医講習会参加者にはさらに 10000 円の補助

現在の学会雑誌投稿規程では、参考文献に対する制限の記載がない。これまでも商業誌は参考文献として認めていなかったが、これを明文化するために以下のような加筆変更を提案する。

現在

原稿の第1ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、共著者のEメールアドレスを記入する。

ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、連絡責任者名および所在地と、電話・メールアドレスを明記する。

次ページには英文 Abstract（原著約200語、短報約100語）と Key word（英語）（原著、短報とも5語以内、ABC順で全て小文字）を記入する。

改ページしたら、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。

変更案（赤字が加筆部分）

原稿の第1ページには投稿区分（原著、短報等）、和文表題、著者名、英文表題、英文著者名（英文原稿では順が逆になる）、共著者のEメールアドレスを記入する。

ついで、下半分に著者の所属機関および所在地（郵便番号を含む）を和文、英文で記入する。さらに連絡先として、連絡責任者名および所在地と、電話・メールアドレスを明記する。

次ページには英文 Abstract（原著約200語、短報約100語）と Key word（英語）（原著、短報とも5語以内、ABC順で全て小文字）を記入する。

改ページしたら、原著では、「はじめに、材料と方法、成績、考察、参考文献」の順に記載する。
商業誌は参考文献に認めない。

短報では参考文献を除いてこのように項目分けをしない。また英文原稿においては原著、短報ともに最後に和文要約（200字程度）を記載すること。総説、技術講座等ではこのような様式をとる必要はない。